

# 四半期報告書

(第89期第2四半期)

株式会社歌舞伎座

---

# 四 半 期 報 告 書

---

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

# 目 次

	頁
【表紙】 .....	1
第一部 【企業情報】 .....	2
第1 【企業の概況】 .....	2
1 【主要な経営指標等の推移】 .....	2
2 【事業の内容】 .....	2
第2 【事業の状況】 .....	3
1 【事業等のリスク】 .....	3
2 【経営上の重要な契約等】 .....	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】 .....	3
第3 【提出会社の状況】 .....	5
1 【株式等の状況】 .....	5
2 【役員の状況】 .....	6
第4 【経理の状況】 .....	7
1 【四半期連結財務諸表】 .....	8
2 【その他】 .....	15
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】 .....	16

四半期レビュー報告書

確認書

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年10月11日

**【四半期会計期間】** 第89期第2四半期(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

**【会社名】** 株式会社歌舞伎座

**【英訳名】** KABUKI-ZA CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 大谷信義

**【本店の所在の場所】** 東京都中央区銀座七丁目15番5号

**【電話番号】** 直通03(3541)5572

**【事務連絡者氏名】** 取締役経理部長 池田喜実

**【最寄りの連絡場所】** 東京都中央区銀座七丁目15番5号

**【電話番号】** 直通03(3541)5572

**【事務連絡者氏名】** 取締役経理部長 池田喜実

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第88期 第2四半期 連結累計期間	第89期 第2四半期 連結累計期間	第88期
会計期間	自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日	自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日	自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日
売上高 (千円)	350,016	427,530	792,927
経常損失(△) (千円)	△122,968	△99,362	△246,693
四半期(当期)純損失(△) (千円)	△80,723	△76,810	△168,801
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	19,418	△69,179	260,654
純資産額 (千円)	8,352,405	8,457,459	8,591,357
総資産額 (千円)	24,075,612	23,845,777	24,098,930
1株当たり四半期(当期) 純損失金額(△) (円)	△6.66	△6.34	△13.94
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	34.7	35.5	35.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	6,162,174	△121,502	5,774,109
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△5,515,500	426,028	△5,516,480
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△358,740	△63,232	△361,366
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,036,181	885,804	644,509

回次	第88期 第2四半期 連結会計期間	第89期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日	自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日
1株当たり四半期純損失金額(△) (円)	△3.71	△3.28

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また潜在株式がないため記載しておりません。
4. 第88期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により景気は緩やかな回復基調にあるものの、欧州の債務危機に起因する信用不安及び新興国経済の景気減速懸念並びに円高及びデフレの長期化等依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

また、当社グループは引き続き劇場歌舞伎座の建替え期間という状況のもと、各事業において業績の向上に努めました結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は427,530千円(前年同期比22.1%増)、営業損失は120,401千円(前年同期は140,437千円の営業損失)、経常損失は99,362千円(前年同期は122,968千円の経常損失)となりました。なお、絵画の寄贈を受けたことにより固定資産受贈益を特別利益に計上し、当社において投資有価証券評価損及び連結子会社において有形固定資産除却損を特別損失に計上したこと等により、四半期純損失は76,810千円(前年同期は80,723千円の四半期純損失)となりました。

これをセグメント別にみると、不動産賃貸事業については、売上高が279,146千円(前年同期比1.4%増)、セグメント利益は固定資産税の増加等により68,174千円(前年同期比5.7%減)となりました。

食堂・飲食事業については、平成中村座の弁当販売が寄与し売上高は117,974千円(前年同期比91.9%増)、セグメント損失は19,389千円(前年同期はセグメント損失32,335千円)となりました。

売店事業については、浅草他の催事出店及び襲名披露関連商品販売等により売上高は30,409千円(前年同期比129.4%増)、セグメント利益は9,337千円(前年同期比581.6%増)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ253,152千円減少し、23,845,777千円となりました。

##### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,632,994千円減少し、4,627,380千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加241,294千円並びに有価証券(譲渡性預金)の減少1,800,000千円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,379,841千円増加し、19,218,396千円となりました。主な要因は、劇場建築工事の中間金の支払等による建設仮勘定の増加1,380,083千円であります。

##### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ36,137千円増加し、445,706千円となりました。主な要因は、未払金の増加45,789千円及び買掛金の減少9,951千円であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ155,391千円減少し、14,942,611千円となりました。主な要因は、流動負債への振替による長期前受金の減少146,404千円であります。

##### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ133,898千円減少し、8,457,459千円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少137,365千円であります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」と言う)は、前連結会計年度末に比べ241,294千円増加し、885,804千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、121,502千円(前年同期は6,162,174千円の資金の増加)となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失115,554千円及び長期前受金の減少146,404千円並びにその他112,795千円の増加によるものであります。なお、前年同期の資金の増加は、主に地代の受領による長期前受金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、426,028千円(前年同期は5,515,500千円の資金の減少)となりました。これは主に有価証券の償還による収入(譲渡性預金の満期)1,800,000千円及び有形固定資産の取得による支出(劇場建築工事の中間金支払)1,380,431千円によるものであります。なお、前年同期の資金の減少は、主に有価証券の取得(譲渡性預金の預入)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、63,232千円(前年同期は358,740千円の資金の減少)となりました。これは主に配当金の支払59,110千円であります。なお、前年同期の資金の減少は、主に短期借入金の返済による支出及び配当金の支払によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000,000
計	28,000,000

###### ② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年10月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,170,000	12,170,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	12,170,000	12,170,000	—	—

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年6月1日～ 平成24年8月31日	—	12,170,000	—	2,365,180	—	2,405,394



## (6) 【大株主の状況】

平成24年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
松竹株式会社	東京都中央区築地4-1-1	1,665	13.68
清水建設株式会社	東京都中央区京橋2-16-1	1,017	8.35
みずほ信託銀行株式会社 退職給 付信託 松竹口 再信託受託者 資産管理サービス 信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1-8-12 晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ棟	446	3.66
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (退職給付信託 松竹口)	東京都港区浜松町2-11-3	446	3.66
株式会社みずほコーポレート銀行	東京都千代田区丸の内1-3-3	230	1.88
株式会社TBSテレビ	東京都港区赤坂5-3-6	150	1.23
株式会社フジ・メディア・ホール ディングス	東京都港区台場2-4-8	150	1.23
日本テレビ放送網株式会社	東京都港区東新橋1-6-1	150	1.23
株式会社三越伊勢丹	東京都新宿区新宿3-14-1	115	0.94
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	115	0.94
計	—	4,484	36.85

## (7) 【議決権の状況】

## ① 【発行済株式】

平成24年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 60,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,456,000	11,456	—
単元未満株式	普通株式 654,000	—	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	12,170,000	—	—
総株主の議決権	—	11,456	—

(注) 単元未満株式には、当社所有の自己保有株式54株が含まれております。

## ② 【自己株式等】

平成24年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株歌舞伎座	中央区銀座7-15-5	60,000	—	60,000	0.49
計	—	60,000	—	60,000	0.49

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年6月1日から平成24年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新創監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	644,509	885,804
受取手形及び売掛金	18,093	8,364
有価証券	5,500,000	3,700,000
たな卸資産	※ 8,863	※ 12,098
繰延税金資産	5,662	5,165
その他	83,639	16,131
貸倒引当金	△393	△184
流動資産合計	6,260,375	4,627,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	509,571	487,026
土地	6,238,098	6,238,098
建設仮勘定	4,223,271	5,603,354
その他（純額）	47,313	49,294
有形固定資産合計	11,018,254	12,377,774
無形固定資産		
借地権	2,613,299	2,613,299
商標権	641	605
ソフトウェア	3,778	2,958
無形固定資産合計	2,617,719	2,616,862
投資その他の資産		
投資有価証券	3,777,606	3,778,502
長期前払費用	354,837	353,316
繰延税金資産	27,628	53,629
その他	45,201	41,004
貸倒引当金	△2,694	△2,694
投資その他の資産合計	4,202,580	4,223,759
固定資産合計	17,838,554	19,218,396
資産合計	24,098,930	23,845,777

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	20,909	10,958
未払金	9,433	55,222
未払法人税等	6,803	5,829
前受金	300,119	300,119
賞与引当金	8,791	8,395
1年内返還予定の預り保証金	34,964	32,300
その他	28,548	32,881
流動負債合計	409,569	445,706
固定負債		
長期末払金	136,470	136,470
長期前受金	14,664,066	14,517,661
繰延税金負債	28,461	18,340
退職給付引当金	34,868	35,512
長期預り保証金	234,137	234,627
固定負債合計	15,098,003	14,942,611
負債合計	15,507,572	15,388,318
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,365,180	2,365,180
資本剰余金	3,255,864	3,255,864
利益剰余金	2,766,338	2,628,972
自己株式	△257,734	△261,898
株主資本合計	8,129,648	7,988,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	461,708	469,340
その他の包括利益累計額合計	461,708	469,340
純資産合計	8,591,357	8,457,459
負債純資産合計	24,098,930	23,845,777

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	350,016	427,530
売上原価	283,181	344,960
売上総利益	66,834	82,569
販売費及び一般管理費		
人件費	132,260	127,612
賞与引当金繰入額	7,543	6,812
退職給付費用	1,979	2,181
租税公課	7,456	5,359
減価償却費	1,999	1,491
その他	56,033	59,513
販売費及び一般管理費合計	207,272	202,970
営業損失(△)	△140,437	△120,401
営業外収益		
受取利息	1,141	3,132
受取配当金	16,562	16,442
その他	3,136	5,041
営業外収益合計	20,841	24,616
営業外費用		
支払利息	3,013	2,400
有形固定資産除却損	40	—
その他	317	1,178
営業外費用合計	3,371	3,578
経常損失(△)	△122,968	△99,362
特別利益		
固定資産受贈益	—	5,000
特別利益合計	—	5,000
特別損失		
投資有価証券評価損	10,457	10,961
有形固定資産除却損	—	10,230
特別損失合計	10,457	21,191
税金等調整前四半期純損失(△)	△133,425	△115,554
法人税、住民税及び事業税	1,040	1,108
法人税等調整額	△53,742	△39,852
法人税等合計	△52,702	△38,743
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△80,723	△76,810
四半期純損失(△)	△80,723	△76,810

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△80,723	△76,810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100,142	7,631
その他の包括利益合計	100,142	7,631
四半期包括利益	19,418	△69,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,418	△69,179

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△133,425	△115,554
減価償却費	19,144	16,538
貸倒引当金の増減額(△は減少)	38	△209
賞与引当金の増減額(△は減少)	198	△396
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,979	644
受取利息及び受取配当金	△17,704	△19,574
支払利息	3,013	2,400
投資有価証券評価損益(△は益)	10,457	10,961
固定資産受贈益	—	△5,000
有形固定資産除却損	40	10,230
売上債権の増減額(△は増加)	9,019	9,728
たな卸資産の増減額(△は増加)	△921	△3,234
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,055	△9,951
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,011	524
長期前受金の増減額(△は減少)	6,514,660	△146,404
預り保証金の増減額(△は減少)	△2,638	△2,664
長期預り保証金の増減額(△は減少)	—	490
その他	△49,059	112,795
小計	6,348,757	△138,675
利息及び配当金の受取額	17,022	19,253
利息の支払額	△313	—
法人税等の支払額	△203,292	△2,080
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,162,174	△121,502
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△5,500,000	—
有価証券の償還による収入	—	1,800,000
有形固定資産の取得による支出	△15,500	△1,380,431
保険積立金の払戻による収入	—	6,510
その他	—	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,515,500	426,028
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△300,000	—
自己株式の処分による収入	875	—
自己株式の取得による支出	△532	△4,164
配当金の支払額	△59,098	△59,110
その他	15	42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△358,740	△63,232
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	287,933	241,294
現金及び現金同等物の期首残高	748,247	644,509
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,036,181	※ 885,804

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※たな卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
商品及び製品	5,374千円	10,006千円
原材料及び貯蔵品	3,488千円	2,092千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
現金及び預金	1,036,181千円	885,804千円
現金及び現金同等物	1,036,181千円	885,804千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月27日 定時株主総会	普通株式	60,557	5	平成23年2月28日	平成23年5月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月25日 定時株主総会	普通株式	60,554	5	平成24年2月29日	平成24年5月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	275,286	61,474	13,255	350,016	—	350,016
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26	200	226	△226	—
計	275,286	61,501	13,455	350,243	△226	350,016
セグメント利益又は損失(△)	72,331	△32,335	1,369	41,365	△181,802	△140,437

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△181,802千円は、セグメント間取引消去△106千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△181,696千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産 賃貸事業	食堂・飲食 事業	売店事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	279,146	117,974	30,409	427,530	—	427,530
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	34	52	87	△87	—
計	279,146	118,008	30,462	427,617	△87	427,530
セグメント利益又は損失(△)	68,174	△19,389	9,337	58,122	△178,523	△120,401

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△178,523千円は、セグメント間取引消去△0千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△178,523千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(有価証券関係)

前連結会計年度末(平成24年2月29日)

その他有価証券

(単位:千円)

区分	取得原価	連結貸借対照表 計上額	差額
(1)株式	3,057,330	3,774,808	717,477
(2)その他(注)	5,500,000	5,500,000	—
合計	8,557,330	9,274,808	717,477

(注) その他は全て譲渡性預金であります。

当第2四半期連結会計期間末(平成24年8月31日)

その他有価証券

(単位:千円)

区分	取得原価	四半期連結 貸借対照表計上額	差額
(1)株式(注)1,2	3,046,369	3,775,704	729,335
(2)その他(注)3	3,700,000	3,700,000	—
合計	6,746,369	7,475,704	729,335

(注) 1 非上場株式(連結貸借対照表計上額2,798千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

(注) 2 株式(時価のある有価証券)について、10,961千円の減損処理を行い、投資有価証券評価損として特別損失に計上しております。また、四半期連結会計期間における減損処理については、洗替え処理を行っております。なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得価額に比べ50%以上下落した場合には全て減損処理を行い、30%~50%程度下落した場合には回復可能性を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。

(注) 3 その他は全て譲渡性預金であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
1株当たり四半期純損失金額 (算定上の基礎)	6円66銭	6円34銭
四半期純損失金額(千円)	80,723	76,810
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	80,723	76,810
普通株式の期中平均株式数(株)	12,111,627	12,110,396

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年10月5日

株式会社歌舞伎座  
取締役会 御中

## 新創監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 篠原一馬 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 坂下貴之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社歌舞伎座の平成24年3月1日から平成25年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年6月1日から平成24年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社歌舞伎座及び連結子会社の平成24年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

**【表紙】**

<b>【提出書類】</b>	確認書
<b>【根拠条文】</b>	金融商品取引法第24条の4の8第1項
<b>【提出先】</b>	関東財務局長
<b>【提出日】</b>	平成24年10月11日
<b>【会社名】</b>	株式会社歌舞伎座
<b>【英訳名】</b>	KABUKI-ZA CO., LTD.
<b>【代表者の役職氏名】</b>	代表取締役社長 大 谷 信 義
<b>【最高財務責任者の役職氏名】</b>	該当事項はありません。
<b>【本店の所在の場所】</b>	東京都中央区銀座七丁目15番5号
<b>【縦覧に供する場所】</b>	株式会社東京証券取引所  (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長大谷信義は、当社の第89期第2四半期(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

## 2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。